

報道関係 各位

2021年10月16日
株式会社日本レースプロモーション

10月16日(土)
2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦
予選速報

大津 弘樹が自身初のポール・ポジションを獲得！

国内レースの最高峰、2021年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦もてぎ大会の予選が10月16日(土)、栃木県ツインリンクもてぎで行われ、時折小雨の降る難しいコンディションの中、ただ一人ドライタイヤで走行した大津 弘樹(レッドブル・ムゲン・チーム・ゴウ)が自身初のポール・ポジションを獲得した。

今大会では、ル・マン24時間レースで優勝した小林 可夢偉(ケーシーエムジー)や、同大会で2位に入った中嶋 一貴(クオバンテリオンチーム トムス)、タチアナ・カルデロン(スリーボンド ドラゴコルセ)らが参戦。また来日が叶ったサツシャ・フェネストラズ(コンドーレーシング)が今季初参戦するなど、ほぼフルメンバーが参戦することとなった。

予選は、時折小雨の降るコンディションで、レインタイヤとドライタイヤが入り乱れる展開となる中、ただ一人終始ドライタイヤを選択した大津が、結果的に逃げ切る形でポールポジションを獲得。また難しいコンディションの中、冷静に対応した山本 尚貴(ティーシーエス・ナカジマレーシング)が今季初のフロントローとなる2番グリッドを獲得した。今大会12ポイント以上獲得でチャンピオンが決定する野尻 智紀(チーム・ムゲン)は、3番グリッドを獲得し、チャンピオン獲得に大きく前進した。

決勝レースは、明日10月17日(日)14時45分スタート予定。

*記録の詳細は、公式ウェブサイトでご確認ください。



自身初のポールポジションを獲得した大津 弘樹